

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	財政	局	財政	部	財政	課
項目	2-5	使用料・手数料等の適正化				
実施内容	類似事業における受益者負担額設定の考え方の整理などを行い、各事業課にて受益者負担の見直しを行っていきます。					
目標	適正な受益者負担の設定 (平成27年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		類似事業における受益者負担額設定の考え方の整理		受益者負担の見直しの実施	必要に応じて受益者負担の見直しを実施	
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		類似事業における受益者負担額設定の考え方の整理		全庁照会により現状の分析を行う	必要に応じて受益者負担の見直しを実施	
数値目標	-	26年度	27年度	28年度	29年度	
		見込	-	-	-	-
実績	27年度	既に受益者負担の考え方をまとめている先進市の事例を検証の上、受益者負担の考え方の整理を行った。平成28年度に全庁照会により現状の分析を行い、課題の把握に努める。				
単年度の 効果額見込 及び実績	見込 実績	26年度	27年度	28年度	29年度	
		-	-	-	-	
評価	27年度 B	課題	約160件に及ぶ、使用料・手数料・利用料金の現状を整理する必要がある。			
		改善策	施設等にかかるコスト分析等を進め、受益者負担の実態を把握。			
評価基準		A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成				
備考						